

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:平成27年度)

施設の名称	みやぎ産業交流センター
指定管理者の名称	夢メッセみやぎ管理運営共同事業体
施設所管部課(室)	経済商工観光部海外ビジネス支援室

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期	間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘要
	～ 平成18年3月	管理委託	財団法人みやぎ産業交流センター	
平成18年4月	～ 平成19年3月	指定管理者	財団法人みやぎ産業交流センター	
平成19年4月	～ 平成22年3月	指定管理者	財団法人みやぎ産業交流センター	
平成22年4月	～ 平成25年3月	指定管理者	夢メッセみやぎ管理運営共同事業体	
平成25年4月	～ 平成26年3月	指定管理者	夢メッセみやぎ管理運営共同事業体	
平成26年4月	～ 平成31年3月	指定管理者	夢メッセみやぎ管理運営共同事業体	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	夢メッセみやぎ管理運営共同事業体
	所在地	仙台市宮城野区港三丁目1-7
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日(5か年)	
募集方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施設の名称	みやぎ産業交流センター(夢メッセみやぎ)	
所在地	本館:仙台市宮城野区港三丁目1-7 西館:仙台市宮城野区港三丁目1-3	
設置年月	本館:平成7年8月 西館:平成26年4月(利用開始は平成26年7月)	
根拠条例等	産業交流センター条例	
設置目的	情報、技術、文化等の交流を促進し、県内の産業の振興及び県民福祉の向上に寄与するため。	
施設の内容	敷地面積(本館)	57,178.98㎡
	敷地面積(西館)	26,076㎡ ※企業局と共管
	構造	RC構造 他
	内容	・本館展示棟、会議棟 ・エネルギー棟 ・西館
開館(所)日	年末年始の12月29日から1月3日を除く日	
開館(所)時間	午前9時00分～午後9時00分	
指定管理者が行う業務の範囲	1 施設全体の管理運営業務 2 施設の使用許可及び利用料金の徴収・減免業務 3 貸出用備品の調達、供用及び維持管理業務 4 施設全体の維持管理業務 5 施設等の更新及び大規模修繕等業務 6 その他当該施設の管理運営に関して宮城県が必要と認める業務	
利用料金制	採用の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利用料金の名称	センターの利用に係る料金

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画 評価対象年度 (平成27年度) (A)	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)	
		前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)			
本館	開館(所)日数	360 日	359 日	360 日	100.0%	100.3%
	延べ主催者数	241 人	263 人	252 人	104.6%	95.8%
	延べ利用者数	541,500 人	542,687 人	554,264 人	102.4%	102.1%
西館	開館(所)日数	360 日	268 日	360 日	100.0%	134.3%
	延べ主催者数	160 人	114 人	193 人	120.6%	169.3%
	延べ利用者数	44,030 人	46,176 人	51,840 人	117.7%	112.3%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画 評価対象年度 (平成27年度) (A)	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)		
		前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)				
展 示 棟	主催者数	84 人	91 人	85 人	101.2%	93.4%	
	来場者数	520,000 人	517,775 人	535,108 人	102.9%	103.3%	
屋外展示場	主催者数	17 人	22 人	17 人	100.0%	77.3%	
会 議 棟	大ホール	主催者数	70 人	72 人	76 人	108.6%	105.6%
		来場者数	20,000 人	22,914 人	17,598 人	88.0%	76.8%
会議室	主催者数	70 人	78 人	74 人	105.7%	94.9%	
	来場者数	1,500 人	1,998 人	1,558 人	103.9%	78.0%	
西館	展示場	主催者数	20 人	10 人	26 人	130.0%	260.0%
		来場者数	30,000 人	35,522 人	22,320 人	74.4%	62.8%
	ホール	主催者数	30 人	25 人	30 人	100.0%	120.0%
		来場者数	15,000 人	7,839 人	24,677 人	164.5%	314.8%
	会議室	主催者数	100 人	74 人	111 人	111.0%	150.0%
		来場者数	4,000 人	2,803 人	4,640 人	116.0%	165.5%
研修室	主催者数	20 人	5 人	26 人	130.0%	520.0%	
	来場者数	160 人	12 人	203 人	126.9%	1691.7%	
合 計	主催者数	411 人	377 人	445 人	108.3%	118.0%	
	来場者数	590,660 人	588,863 人	606,104 人	102.6%	102.9%	

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入 (単位:千円, %)

項 目	事業計画 評価対象年度 (平成27年度) (A)	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
		前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
県指定管理料	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
利用料金収入	372,750	371,724	395,177	106.0%	106.3%
その他	7,633	6,466	8,360	109.5%	129.3%
収入計 (a)	380,383	378,190	403,537	106.1%	106.7%

(2) 支出

人件費	59,995	60,971	64,003	106.7%	105.0%
施設管理費	229,978	204,006	226,225	98.4%	110.9%
事業運営費	20,039	39,852	30,564	152.5%	76.7%
納付金	43,000	39,815	39,815	92.6%	100.0%
その他	34,962	39,806	36,651	104.8%	92.1%
支出計 (b)	387,974	384,450	397,258	102.4%	103.3%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	-7,591	-6,260	6,279	-82.7%	-100.3%
前期繰越収支差額	-49,508	-65,955	0	0.0%	0.0%
次期繰越収支差額	-57,099	-72,215	6,279	-11.0%	-8.7%

(4) 自主事業収支

収入計(d)	500	263	866	173.2%	329.3%
支出計(e)	47,470	54,462	55,637	117.2%	102.2%
収 支 (f)=(d)-(e)	-46,970	-54,199	-54,771	116.6%	101.1%

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

6. 評価対象年度(平成27年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項 目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
	評価	評価	評価	評価	評価	評価
①管理運営体制	<p>夢メッセみやぎの管理運営を(一財)みやぎ産業交流センターを代表とする同和興業(株)、(株)河北新報社、(株)仙台放送、東北放送(株)の5社により共同事業体を構成し運営している。運営組織は構成団体各社からなる運営委員会を置き、その下で指定管理業務統括責任者が各部門を管理する体制をとっている。</p> <p>[組織体制]</p> <p>統括責任者1名 副統括責任者1名</p> <p>①運営・サービス部門(一財)みやぎ産業交流センター 統括マネジメント業務、営業・サービス業務、総務・経理業務</p> <p>②維持管理部門 同和興業(株) 施設保守管理業務、清掃・機械業務、警備(機械警備含む)業務、駐車管理業務</p> <p>③展示会等開催・広告宣伝部門 (株)河北新報社、(株)仙台放送、東北放送(株)夢メッセみやぎの広報・宣伝業務、新規催事の企画・誘致業務・主催催事の開催、広報宣伝業務の他情報収集業務</p>		<p>共同事業体の構成員各社が事業計画及び運営委員会に基づき各自の担当分野を分掌して事業を行っており、専門性と質の高い事業運営を行った。</p>		<p>アンケートや各種報告書から大きな問題等は確認されず、苦情や事故発生等の連絡もなかったため、コンソーシアム企業と連携しながら適切な管理運営体制の下で事業を行ったものと認められる。</p>	
人員体制	正規 29 人	非正規 人				
②施設・設備の維持管理業務の実施	<p>みやぎ産業交流センター維持管理業務仕様書に基づき、下記各業務を行なった。</p> <p>1 電気・機械設備等の運転監視及び日常保守点検業務</p> <p>2 清掃業務</p> <p>3 警備(防災センター)業務</p> <p>4 機械警備業務</p> <p>5 法定点検業務</p> <p>6 法定外点検業務</p> <p>7 修繕業務</p> <p>8 植栽管理業務</p> <p>9 除雪・融雪業務</p> <p>10 駐車場管理業務</p> <p>11 その他施設の良好な維持管理に必要な業務</p>		<p>日常・定期・臨時・緊急の各点検を実施することにより、施設・設備にトラブルをきたすことなく、安定した環境で施設を顧客に提供することができた。また、展示場屋根塗装飛散対策として、県予算により全面剥離工事を行なった。</p> <p>外部設備で破損があった際には、迅速に補修を行い、利便・安全両面で適切な管理業務を行なった。</p> <p>西館については本館との効率的一元管理の強化に向けサイン工事や駐車場利用調整など施設運営管理体制の充実を図った。</p>		<p>四半期ごとに提出される業務進捗状況報告書により日常・定期・臨時・緊急の各点検状況が報告されており、利用者の安全対策、円滑な施設利用及び催事の開催のために適切に維持管理を行ったものと認められる。また、県の大規模修繕工事において、施工業者からの要望に対し適切かつ柔軟に対応していたことや、本館と西館の一体的運用のために行ったサイン工事や駐車場利用調整については評価できる。</p>	
③運営業務(ソフト事業等)の実施	<p>業務仕様書に基づき、下記各業務を行なった。</p> <p>1 施設全体の管理運営業務</p> <p>2 施設の使用許可及び利用料金の徴収・減免業務</p> <p>3 貸出用備品の調達、供用及び維持管理業務</p> <p>4 その他の業務</p>		<p>昨年度に引き続き西館利用促進のため専門誌等各種媒体を通して積極的に宣伝を行なった結果、稼働率アップにつながった。本館については制度に基づく利用料金の減免を行い、顧客の利便を図ったほか、新たに減免制度を創設し、周知に努めた。備品調達は適正在庫と利用頻度を考慮しながら購入し、顧客満足度と備品稼働を向上させるよう努めた。</p> <p>レストランの稼働が安定しない状況の中、営業日数の最適化を図るなど工夫した。また、レストラン営業者から27年度末の撤退意向が示されたため、新たな営業者を選定し、レストラン営業を継続した。</p>		<p>平成27年度も使用許可や利用料金の徴収など適切に施設の管理運営をおこなったものと認められる。</p> <p>平成26年度の西館の稼働率の低さを踏まえ、指定管理者が積極的に宣伝したこと、西館の稼働率が向上したことは高く評価できる。また、レストラン運営について、従前の営業者が撤退した後も新規営業者を開拓し営業継続につなげたことは、利便性維持につながり評価できる。</p>	

<p>④自主事業の実施</p>	<p>下記各事業を自主的に行なった。 (1)展示会等開催及び支援事業 (主催) ・第4回全国やきものフェアinみやぎ ・みやぎ元気まつり2015 ・海洋堂フィギアワールド ・ビジネスマッチ東北2015 ・夢メッセみやぎ開館20周年記念みやぎの 食材マッチングフェア ・(株)劇団ニホンジンプロジェクト (開催支援) ・JAグループ担い手営農復旧支援フェスタ 2015 in 宮城 ・とうほく蘭展 & バラとガーデニングフェスタ 2015 ・東北モーターショーin仙台2016 ・第11回全国和牛共進会宮城大会実行委 員会・部会員として参画 (開催誘致) ・「名古屋吹上ホール」及び「ポートメッセな ごや」との相互利用割引制度による誘致 ・南東北3県展示場情報交換会 (2)展示会出展支援事業 ・「みやぎ優れMONO」認定企業への 出展支援助成金交付 4件 ・小規模国際学術会議等開催支援 支援 件数 13件 (3)展示会活用推進事業 ・夢メッセみやぎ開館20周年記念事業 ①みやぎの食材マッチングフェアの開催 ②Japan exhibition forum2015への出展 ③3夢メッセみやぎ20周年記念講演会・交 流会の開催 (4)情報提供事業 ・機関誌「夢メッセみやぎ」2回発行 (5)展示施設等効用増進事業 ・本館会議棟大ホール照明・空調器具改修 工事 ・西館設備改善工事及び備品購入 (6)東日本大震災復興支援 ・「全国やきものフェア」での被災地無償小 間の提供</p>	<p>施設の設置目的に沿った産業振興に寄与 する展示会や共同事業体企業の特徴を活 かしたイベント開催、開催支援に努めた。 また、展示会産業の活性化につながる出展 企業への助成金制度やセミナー・講演会等 の開催を行い、成果を上げている。 今年度は開館20周年記念事業を積極的に 実施し県内外に施設機能の広告と新規催 事の誘致に努めた。特に東京ビッグサイ ドでの出展は地方施設のPRとしては画期的な活 動であり大いに意義があったと思われる。</p>	<p>展示会等開催及び支援事業を通じて、積 極的に宮城県の産業振興及び観光振興に 努めていたものと認められる。また、開館20 周年記念をきっかけとした県内外に対する 施設の周知広報や新規催事の誘致、東京 ビッグサイトで開催された展示会での施設 PRは施設の認知度向上に寄与したものと 認められる。</p>	<p>S</p>
<p>⑤利用者サービスの 向上</p>	<p>1 ニーズの把握 利用者のニーズを把握するため、下記の 調査を行なった。 ・顧客を対象にしたアンケート調査 ・来場者を対象にしたアンケート調査 ・特定の展示会における出展者を対象にし たアンケート調査 2 ニーズのフィードバック 各アンケート調査から得られた情報を元 に、ソフト面での業務改善等を行い、サービ ス向上に努めた。 ・備品の追加購入・提供 ・顧客の要望に合わせたレストランの営業 ・宿泊や観光に関する情報の提供</p>	<p>アンケート調査では職員の態度については毎 月高い評価を得ている。 ハード面では会議棟大ホール照明器具改修 工事、控室の空調設備改修工事、西館展 示場電源増設、設備口設置等を行い快適 性、利便性向上に努めたほか、ソフト面では 対応可能な要望に随時応じている。 西館への誘導についてはサイン表示の充実 を図るとともに、仙台港エリア周辺の商業施 設の情報や県・市・近隣の観光情報を積極 的に掲示した。 仙台港エリア振興会として要望した「地下鉄 東西線開業に伴う新規バス路線」につい ても地下鉄東西線開業時に運行開始してい る。</p>	<p>毎月報告されるアンケート調査結果では、 指定管理者の対応について顧客から概ね 好意的な評価を受けていることが確認でき た。 また、新規バス路線の誘致や西館展示場 電源増設、設備口設置等は利便性向上に 大きく寄与するものであり高く評価できる。</p>	<p>A</p>
<p>⑥利用者の苦情、 要望等の把握 とその反映</p>	<p>上記⑤のアンケート調査からの要望の把握 ・受動喫煙対策、西館への誘導サイン ・西館展示場の遮光 ・有線 放送の導入等 ・利用料の 備品の数量 引き下げ ・駐車場の拡大・増設 ・照明の増設</p>	<p>指定管理者の業務範囲で対応できること には出来るだけ対応するよう努めた。 受動喫煙対策、西館への誘導サイン及び西 館展示場の遮光、有線放送の導入等の要 望は次年度実施に向けて検討。 駐車場確保や設備のハード的な改善要望 は難しいため県としての対応を望みたい。</p>	<p>利用者からの苦情及び要望対応につい ては内容を取りまとめ定期的に報告され ている。当該報告書には要望や苦情に関 する原因の特定及び指定管理者としての 対応方針等が記載されており、業務改善 に対する積極的な取組が認められる。</p>	<p>A</p>
<p>⑦安全対策</p>	<p>1 非常時体制の構築 非常時に対応するため、下記の対応を 取った。 ・自衛消防隊の組織 ・消防訓練の実施 ・施設の立地特性に応じた想定と対策(津 波を想定した避難計画と訓練) ・危機管理マニュアルの改訂 2 顧客との協力 非常時には施設利用者の協力が不可欠 ことから、下記の事項を実施した。 ・危機管理マニュアルの提供 ・避難経路の確認 ・訓練の実施</p>	<p>法定の避難訓練に加え、津波を想定した危 機管理体制を構築している。 消防署からの情報収集による危機管理マ ニュアルの見直しを行なった。</p>	<p>東日本大震災時の教訓を踏まえて津波を 想定するなど、適切な危機管理体制を構 築しているものと認められる。</p>	<p>A</p>
<p>⑧県民の平等利用</p>	<p>県条例に基づき、「公の施設」としての機能 を十分に発揮させるための施設利用に努め た。</p>	<p>お客様ニーズを満たすため柔軟なサービス 提供に努める一方、施設使用許可にあたり 、「公の施設」であることを常に念頭に置き つつ、公平平等に処理するとともに、施設利 用料の減免は制度に基づき行なわれ、不平 等な取り扱いはなかった。</p>	<p>主催者向けアンケート調査結果には、利用 申請における不公平な取扱いに関する苦 情が見当たらないことから、県条例に基づ く「公の施設」であることを十分に理解し適切 に対応しているものと認められる。</p>	<p>A</p>

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	共同事業体が定める個人情報保護規定に基づき業務を行った。	個人情報に関する問い合わせ・苦情等はなく、適切に業務を行なった。	S	個人情報に関するトラブルについて報告は確認されず、適切な管理を行っているものと認められる。また、マイナンバー制度の施行に伴い、すみやかに個人情報保護規定を改定したことは高く評価できる。	S
⑩利用実績	上記4.施設利用実績のとおり。	本館展示場の稼働率は45.5%と仙台国際センター展示場の稼働の影響を懸念したにもかかわらず、ほぼ平年並の稼働率となった。西館展示場稼働率は21.9%・ホール21.1%と前年より高い成果となった。本館催事件数は周年記念イベントや単発イベントのあった前年に比べ下回った。来場者数は、催事件数減少にも関わらず、集客力のある催事により前年を上回った。	A	西館については指定管理者の積極的な誘致活動及びサービス向上により稼働率が大幅に伸びたものと認められ高く評価できる。催事件数が減少しているにもかかわらず来場者数が前年度を上回ったのは、魅力ある催事が理由であることもさることながら、指定管理者による利便性向上が功を奏したものと史料される。	S
⑪収支実績	上記5.管理運営収支実績のとおり。	西館との一元管理体制がほぼ整うとともに、西館収入が計画を上回ったことにより当初予算では赤字を計上していたが黒字となった。	S	指定管理者の積極的な誘致活動及び経費節減努力により収支が黒字化したことは高く評価できる。	S
⑫その他の取組	1.周辺企業との連携 ・「仙台港エリア振興会」の代表として、仙台港地域の交流拡大に努めた。昨年度に要望した東西線荒井駅からの新定期バス路線が開業に合わせて運行。エリア内の賑わい創出のための連携事業としてスタンプラリーや巡回バスを実施した。 ・「スマイルポート活動」に参加し、周辺道路の清掃活動を行なった。 2.利便施設の充実 ・「ビジネスコーナー」でコピー機やPCの提供を行なった。 ・本館コンコース・ホワイエに設置しているデジタルサイネージで夢メッセ催事情報を提供した。 ・西館1階の共用スペースに自販機2台設置。 ・レストラン業者が契約終了のため来年度に向け新規業者を決定した。	仙台港エリア周辺地域の中核施設という立場を意識し、指定管理事業のみならず、地域の一員として社会に関わるよう努めた。また仙台港エリア振興会の事務局としてエリア内の店舗・事業所との連携で賑わい創出の取り組みを行なった。次年度に向けて平日の利用者確保、会議室・研修室の利用促進のための検討を行なった。	S	利便性向上のためにきめ細やかなサービスを行うとともに、指定管理事業に限らず地域の一員として周辺のにぎわい創出やスマイルポート活動への参加といった社会貢献活動を積極的に行なったものと認められる。	A
総合評価		指定管理事業においては、西館との一元管理体制も整い、従前どおり本館合わせて顧客満足度が高く、本館の稼働率の安定が図られ、安全かつ効率的な管理運営を行うことができた。 自主事業においても、共同事業体の特徴を活かしたイベントの開催をはじめ、展示会等の主催、出展支援、活用促進など各種事業を行い、展示会の裾野の拡大に努め、財団及び施設の設置目的を実現するよう努めた。特に今年度は開館20周年を節目に利用者確保のための誘致・広告宣伝活動を積極的に実施し、今後の施設の利用拡大と産業振興につなげることができた。	A	全体として、平成27年度についても大きな問題もなく適切に施設の管理運営が行われたものと認められる。本館の安定的な稼働に加えて、今回が初めての通年稼働だった西館については、積極的な誘致活動を行うことで平成26年度を上回る稼働率を実現し、施設全体の来場者数も平成26年度比で増加した。また、経費節減に努めることで収支が黒字化を達成できたことは高く評価できる。引き続き、利用者確保のために積極的な誘致・広告宣伝活動や利便性の向上に努め、施設稼働率の向上と宮城県産業振興及び観光振興につなげる。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	本館の利用収入・稼働率の安定と西館利用収入確保による西館管理運営の収支バランスが課題。駐車場の拡大(西館南側緑地の駐車場化)平成29年9月開催の「第11回全国和牛共進会宮城大会」の臭気対策・交通渋滞の懸念。	本館の利用収入・稼働率の安定と西館の収支バランスについては、引き続き指定管理者と連携して対応していく。駐車場確保等のハード面の整備については、予算、長期的な必要性及び実現可能性等を踏まえ検討していく。「第11回全国和牛共進会宮城大会」の臭気対策・交通渋滞については指定管理者との情報共有を密にしていくとともに主催者に対して対策の徹底を要請していく。

(別表)

指定管理者制度導入施設のモニタリング状況等調査表（抄）

施設の名称	みやぎ産業交流センター
施設所管課（室）	海外ビジネス支援室

2 管理運営にあたる人員体制（平成28年4月1日時点）

※代表団体職員数＋施設維持管理業務従事職員数で記載願います。

正職員	30人	
非正規職員	人	
内 訳	パート・アルバイト	人
	契約社員・嘱託	人
	派遣	人
	その他（ ）	人